

スポーツに関する市民意識調査(概要版)

平成 20 年 3 月
武蔵野市教育委員会

I. 調査概要

1. スポーツの振興に関する計画の基礎資料とするためスポーツに関する意識調査を以下の6層の市民に実施しました。
2. 対象者と調査方法
 - ・小学生(5年生)、中学生(2年生)
全市立小・中学校当該学年全員を対象とし、学校で自記入により実施しました。
 - ・高校生、就学前児童保護者と成人は、住民基本台帳より地区別・年代別に層化し、各層別に無作為に抽出した対象者に郵送法で実施しました。
 - ・関係団体等は、市のスポーツ施設登録団体リストおよび指導者は部活動指導者や外部コーチ、体育協会登録指導者等より抽出した対象者に郵送法で実施しました。
3. 配布数と回収数

	配布数	回収数	回収率	備考
小学生	904	869	100.0	12校 27学級
中学生	601	561	100.0	6校 18学級
高校生	300	96	32.0	
未就学児童 (保護者)	300	140	46.7	
成人	2,000	705	35.3	
関係団体等	400	160	40.0	

注) 回収数は、集計に用いた票数ではなく、期限後到着票等を含みます。

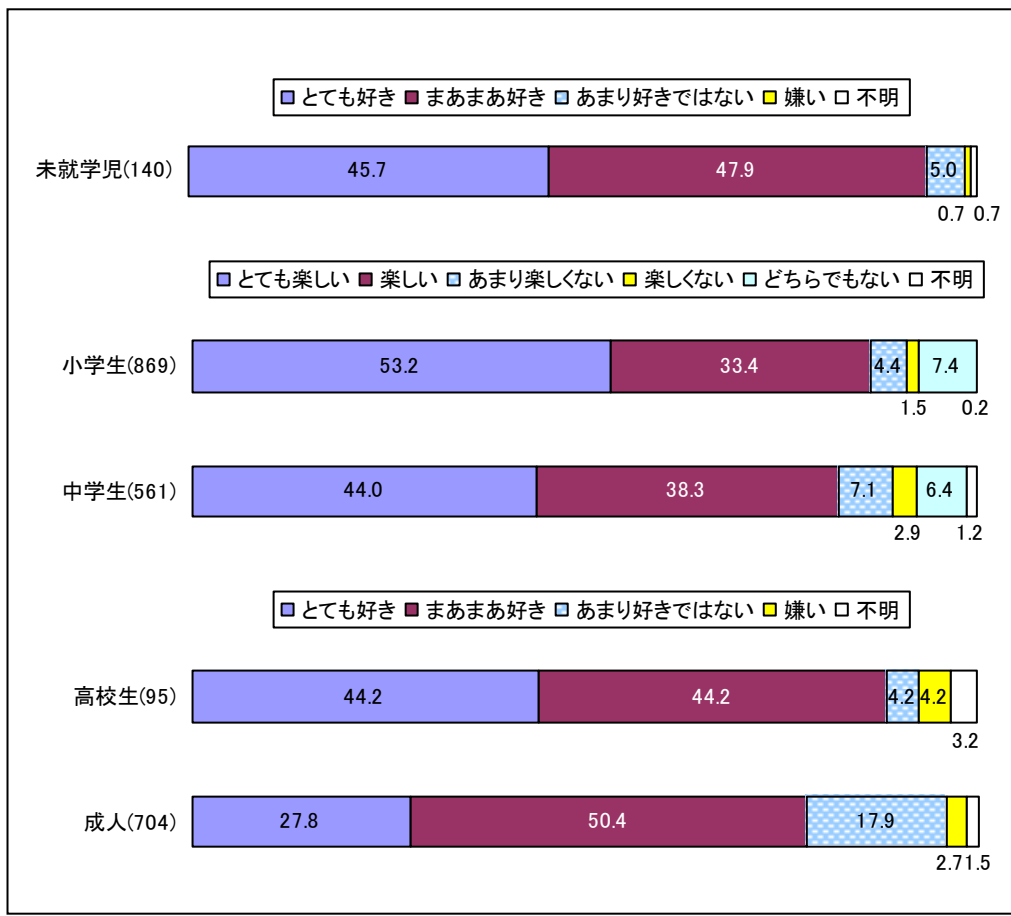
小学生と中学生は、学校用や当日欠席者等があるため配布数と回収数は一致しません。

II. 調査結果

(1) スポーツの好き嫌いと日頃の取組み

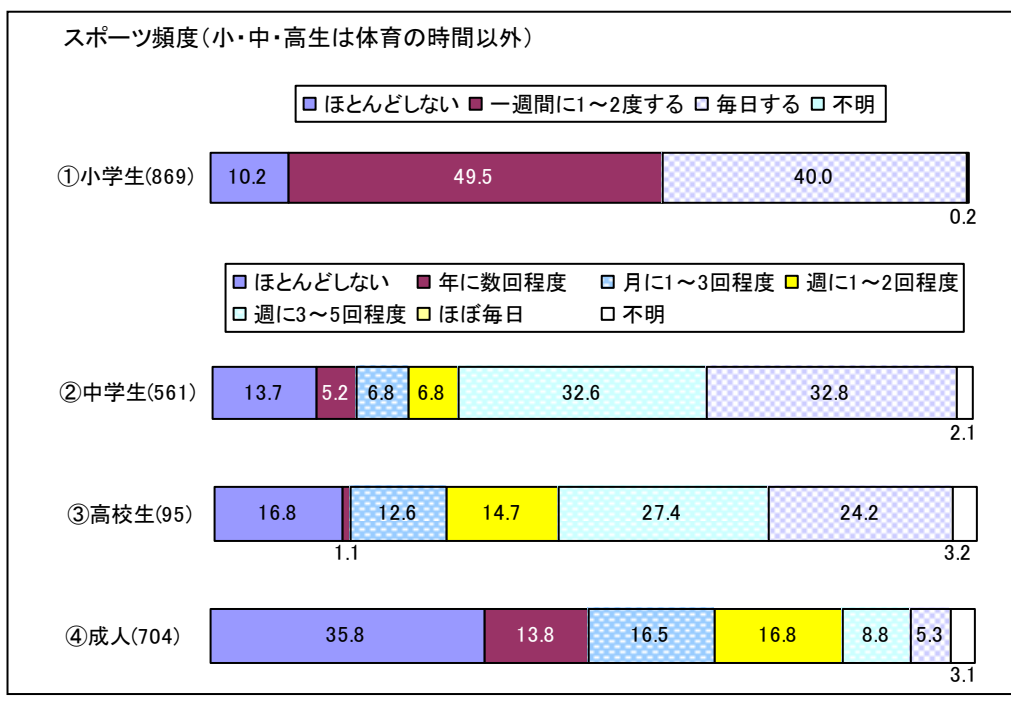
- スポーツの「好き・嫌い」: 「とても好き」(とても楽しい)と「まあまあ好き」(楽しい)を合計した割合は、どの年代層でも80%前後が「好き」と回答しています。
- スポーツをする頻度: 月1回以上スポーツをする割合は、小・中・高校生では、体育の授業を除いても、80%以上となっています。成人では、60%程度です。
- 現在しているスポーツ: 10%程度の人があげたスポーツを見ると、未就学児・小学生では「あそび」も含まれており、中学生では「サッカー」や「バスケットボール」「野球」など競技が中心となります。高校生では「筋肉トレーニング」や「ジョギング」などが、成人ではより緩やかな「ウォーキング」「体操」などが中心となっています。
- スポーツをする場所: 未就学児や小学生は「園庭・校庭」や「公園」が、中学生は「体育館」(学校施設を除いて質問)、高校生は「学校の体育館や校庭」、成人は「屋内プール」「トレーニングジム」がそれぞれ多くあげられています。

1. スポーツの「好き・嫌い」(「楽しい・楽しくない」)



2. 日頃のスポーツへの取組み

1) スポーツをする頻度



2) スポーツをしない理由

(単位: %)

小学生(n=89)		中学生(n=77)		高校生(n=16)		成人(n=252)	
勉強や習い事で忙しいから	49.4	他にしたいことがあるから	46.8	他にしたいことがあるから	62.5	仕事や家事、育児、介護、勉強などで忙しくて時間がないから	53.2
他にしたいことがあるから	43.8	スポーツに興味がないから	33.8	スポーツが苦手だから	43.8	きっかけや機会がないから	40.1
スポーツに興味がないから	36.0	勉強や習い事で忙しいから	32.5	勉強や習いごとで忙しいから	31.3	お金がかかるから	20.2
してみたいスポーツがないから	36.0	してみたいスポーツがないから	26.0	始めるきっかけがないから	31.3	一緒にする仲間がないから	18.3
				スポーツが嫌いだから	25.0		

*理由は小・中・高校生は25%以上、成人は15%以上を掲載。

スポーツをほとんどしない人の理由は、「勉強や仕事等で忙しい」「他にしたいことがある」などが主な理由となっていますが、一部に「きっかけや機会がない」「仲間・一緒にする人がいない」など仕組みや仕掛けによっては、スポーツをする機会を提供できると思われる人もいます。

3) 現在しているスポーツ

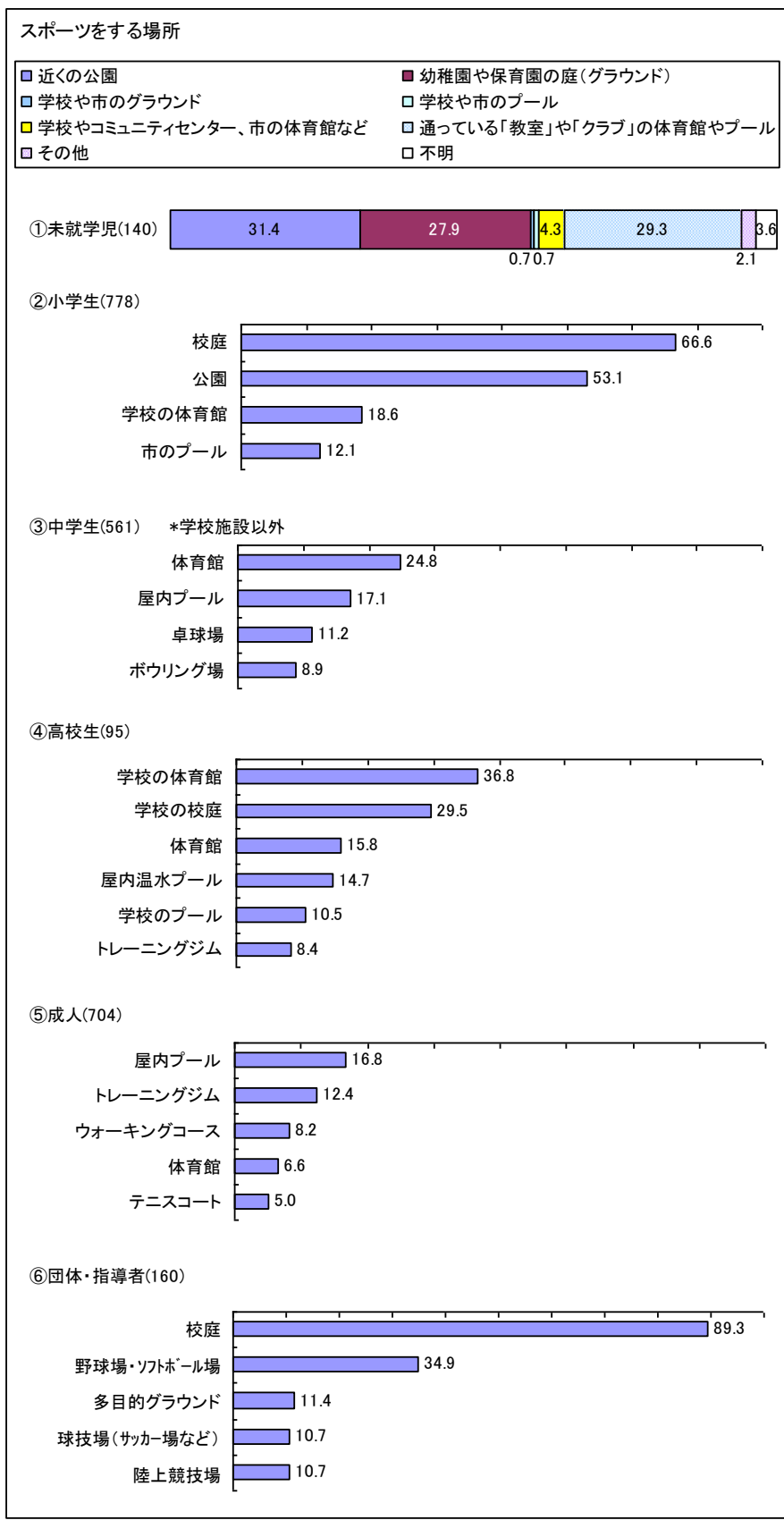
(単位: %)

未就学児 (n=140)		小学生 (n=869)		中学生 (n=561)	
水泳	35.0	縄跳び・大縄	29.2	サッカー・フットサル	18.5
マット、鉄棒などの体操	26.4	サッカー・フットサル	29.1	バスケットボール	15.3
縄跳び	26.4	鬼ごっこ(いろおに、こおりおに)、かくれんぼ	28.3	野球・ソフトボール	11.6
サイクリング(自転車)	18.6	野球・ソフトボール・キャッチボール	22.7	ハンドボール	10.3
ウォーキング・散歩	14.3	バスケットボール	17.4	バドミントン	10.2
サッカー・フットサル	12.1	水泳	16.3		
バレエやダンス	10.0	ドッジボール	14.2		
		バドミントン	12.3		
		その他の遊び	10.1		
		テニス	10.0		

(単位: %)

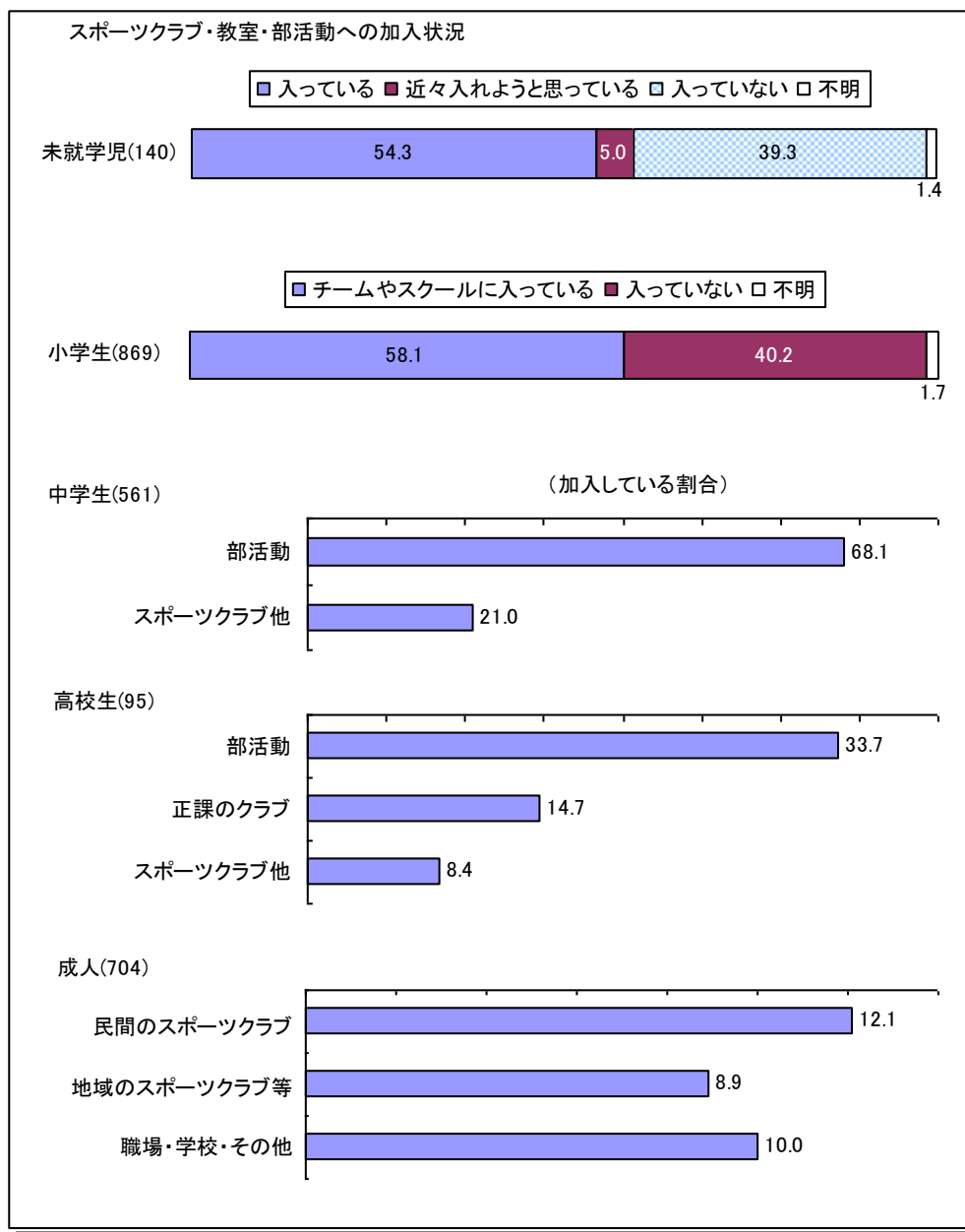
高校生 (n=95)		成人 (n=704)	
筋力トレーニング	28.4	ウォーキング・散歩	40.8
ジョギング・ランニング	26.3	体操・ストレッチ	19.3
体操・ストレッチ	22.1	ゴルフ	16.6
ウォーキング・散歩	16.8	ジョギング・ランニング	12.8
水泳	10.5	筋力トレーニング	12.6
バドミントン	9.5	登山・ハイキング	10.1
テニス	9.5	サイクリング(自転車)	9.5

4) スポーツをする場所



5) スポーツクラブ・教室・部活動への加入状況

未就学児、小学生は半数以上が「スポーツクラブ・スクールやチーム」に加入しています。中学生の「スポーツの部活動」加入は 68.1%です。高校生では 33.7%で中学生の半分くらいになります。成人は、「民間スポーツクラブ」「地域のスポーツクラブ」「職場・学校等のクラブや同好会」それぞれ 10%前後の加入率です。



(2) スポーツ活動に関する評価

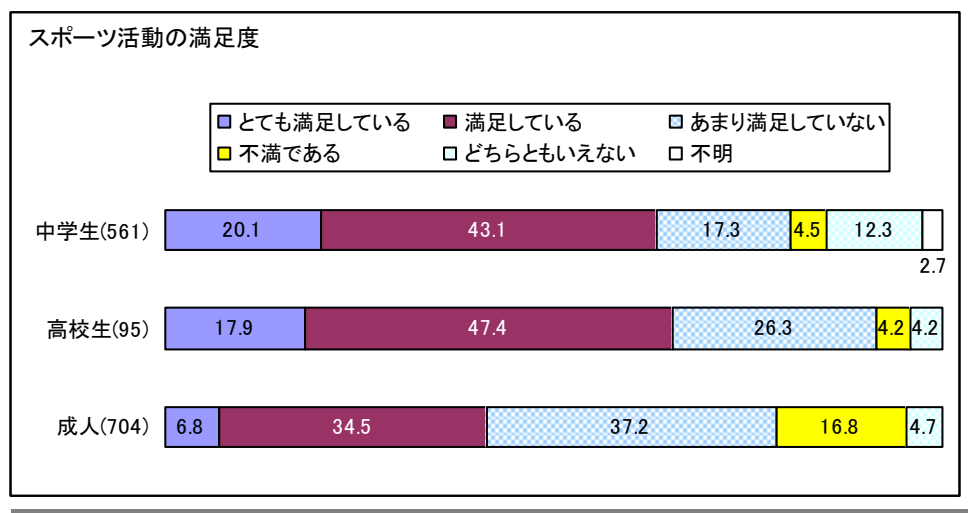
■スポーツ活動の満足度：「とても満足している」と「満足している」を合計した『満足』の割合は、中学生、高校生ではそれぞれ 63.2%、55.3%と半数を超えていますが、成人では 41.3%と半数以下で、逆に「あまり満足していない」「不満である」の合計『不満』の割合が 54.0%と半数を超えています。なお、中学生・高校生の『不満』の割合は中学生で 21.8%、高校生は 30.5%です。

■市内のスポーツ施設の満足度を重視度との関連で見ると

<重視度：高、満足度：高>は、成人、団体・指導者とも「利用料金の適切さ」「利用開始時間・終了時間の適切さ」をあげています。

<重視度：高、満足度：低>は、改善が急がれる項目ですが、成人、団体・指導者共にあげられたのが「スポーツ施設・設備の充実」「予約手続きの利便性」で、成人は更に「付帯施設・設備(シャワーなど)の充実」をあげています。

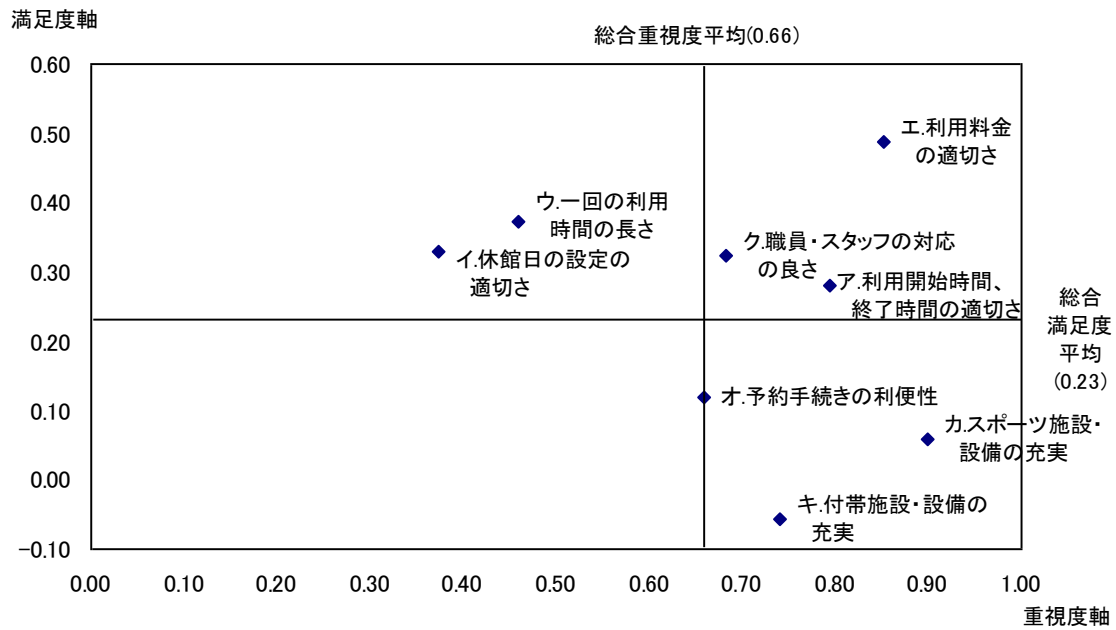
1. スポーツ活動の満足度



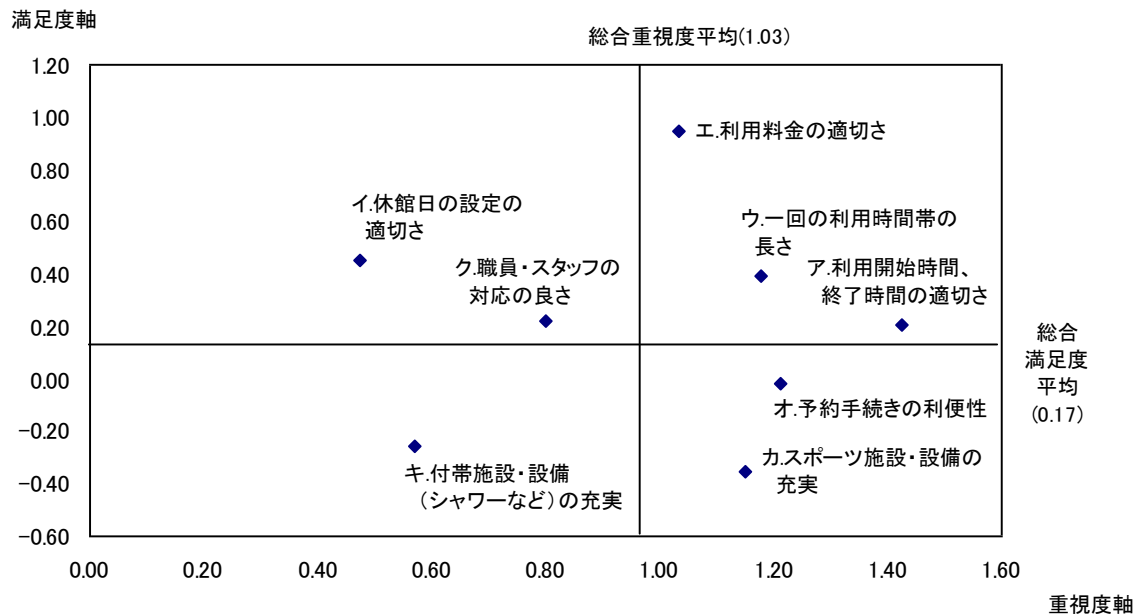
2. 市内スポーツ施設に関する重視度と満足度

重視度および満足度の選択肢に+2点～-2点のスコアを与え、質問項目ごとに平均スコアを算出。さらに質問した8項目のスコアを合計した総合平均スコアを算出。重視度と満足度の総合平均スコアで平面を4象限に区切り、各項目をプロットしました。4象限のどこに位置するかで、現行良い評価ができる施設・サービスと、良い評価ができず改善が必要である施設・サービスの優先度を調査しました。

①成人



②団体・指導者



(3) 今後のスポーツへの取組み

- 今後してみたいスポーツ：未就学児では、「水泳」が 50.0%と高く、次いで「スキー・スノーボード」「武道」が 3 割台となっています。小学生や中学生では、「バドミントン」「ソフトテニス・テニス」「ハンドボール」「バスケットボール」など、恐らく今まであまりしたことのないスポーツに興味・関心がある様子が覗われます。高校生も同様の傾向が見られますが、「スキー・スノーボード」「ダイビング」「サーフィン・ウインドサーフィン」など市内で日常できないスポーツにも関心を示しています。成人は、比較的日常生活でできるスポーツを志向している傾向があり、日頃の運動不足の解消や体力維持、健康維持への配慮が見られます。
- 身近にあれば利用したいスポーツ施設：中学生・高校生では、「ボウリング場」「アイススケート場」が高い割合となっています。その他では中学生は「トレーニングジム」高校生は「屋内温水プール」が高くなっています。成人では、15%以上の施設としては、「屋内温水プール」「トレーニングジム」「ウォーキングコース」があげられています。成人では、その他、してみたいスポーツで「サイクリング」が 12.5%あげられ、それに対応して施設の「サイクリングコース」も 12.4%あげられています。団体・指導者では、現在の指導分野との関係で、「野球場」「球技場」「多目的グラウンド」が上位になっています。

1. 今後してみたいスポーツ

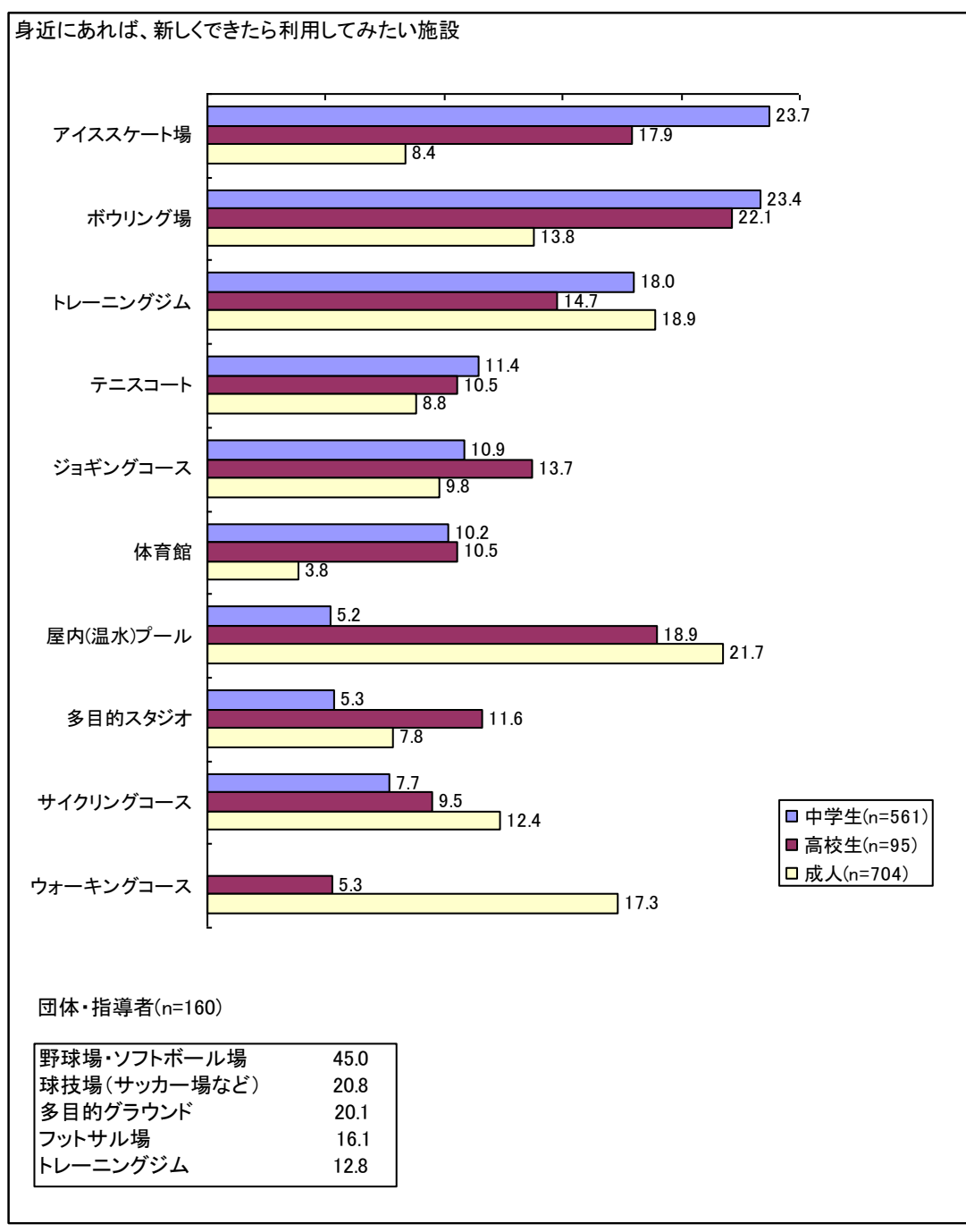
(単位：%)

未就学児(n=140)		小学生(n=867)		中学生(n=561)	
水泳	50.0	バドミントン	28.3	バドミントン	18.7
スキー・スノーボード	34.3	バスケットボール	25.8	武道(柔道、剣道等)	17.6
武道(柔・剣道・空手等)	32.1	ソフトテニス・テニス	20.7	ハンドボール	13.5
キャンプ・オートキャンプ	27.1	ハンドボール	20.5	バスケットボール	12.3
サッカー・フットサル	25.0	野球・ソフトボール	19.9	ソフトテニス・テニス	12.1
テニス	24.3	バレーボール	18.9	バレーボール	11.2
野球	22.1	卓球	18.1	卓球	11.1
登山・ハイキング	20.7	陸上競技	16.8	サッカー・フットサル	10.3

(単位：%)

高校生(n=95)		成人(n=704)	
バスケットボール	22.1	ヨガ・気功・太極拳	22.0
テニス	20.0	水泳	20.6
バレーボール	16.8	ウォーキング・散歩	18.0
スキー・スノーボード	16.8	登山・ハイキング	17.9
ダイビング	15.8	体操・ストレッチ	13.4
バドミントン	14.7	筋力トレーニング	12.8
サーフィン・ウインドサーフィン	14.7	サイクリング(自転車)	12.5
武道	13.7	釣り	10.8

2. 「身近にあれば」「新しくできたら」利用してみたい施設

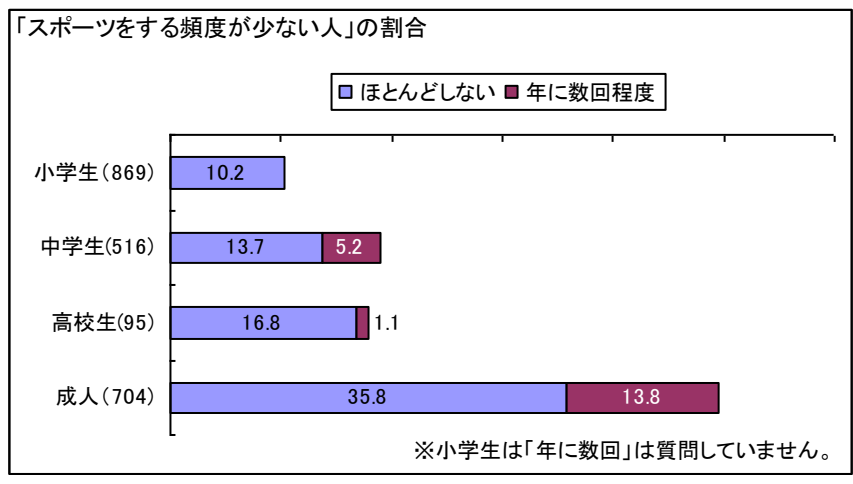


(4) スポーツをあまりしない人の状況

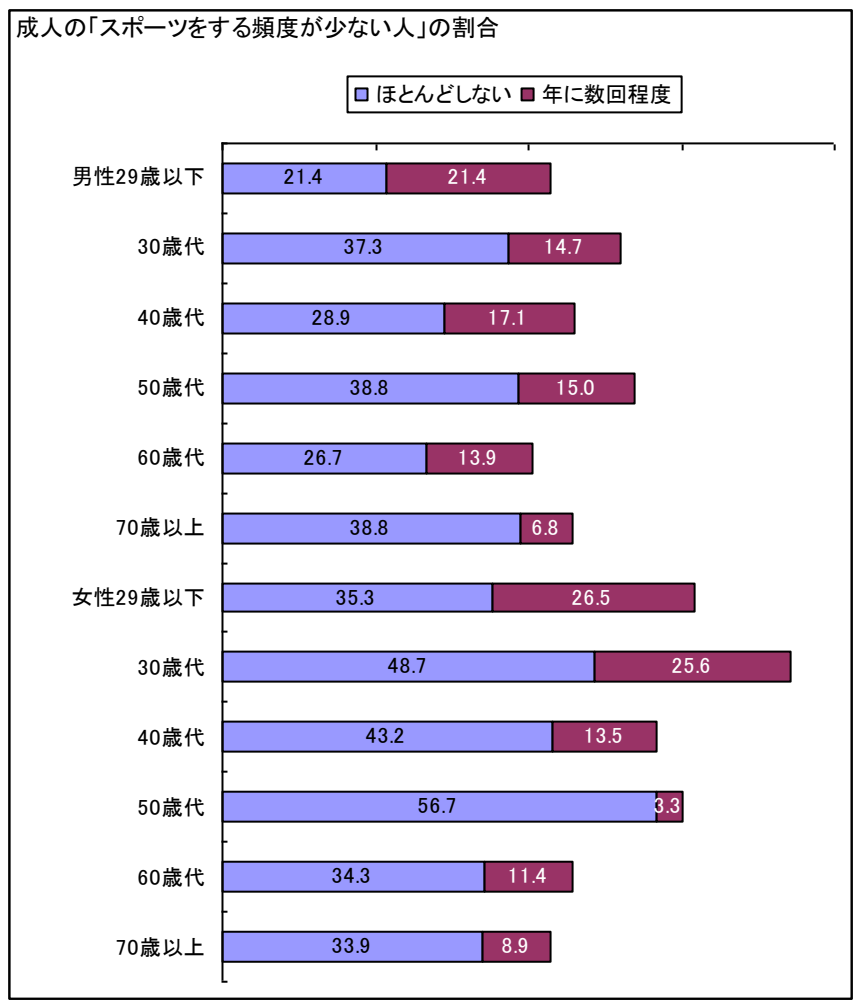
- スポーツをあまりしない人は、「ほとんどしない」の割合が、小学生が10.2%で、年代が高くなるにつれ増加し、成人では35.8%と3人に1人強となっています。
- 成人について、性・年代別に見ると男女とも50歳代が最も「ほとんどしない」割合が高く、次いで30歳代となっています。60歳代、70歳以上になると、本人の自覚や時間的余裕などの関係で、運動をあまりしない割合は減少しています。

1. スポーツをあまりしない人の割合

1) 年代層別に見た「あまりしない人」の割合



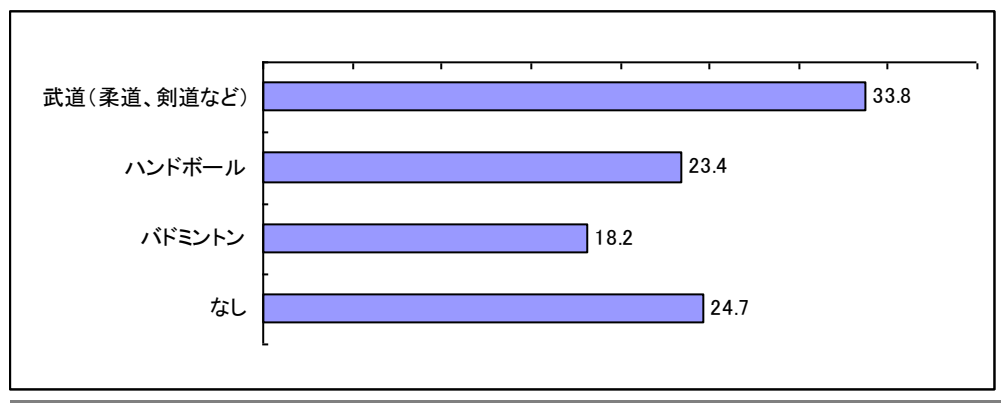
2) 成人の性・年代別に見た「あまりしない人」の割合



2. スポーツを「あまりしない人」の今後してみたいスポーツ

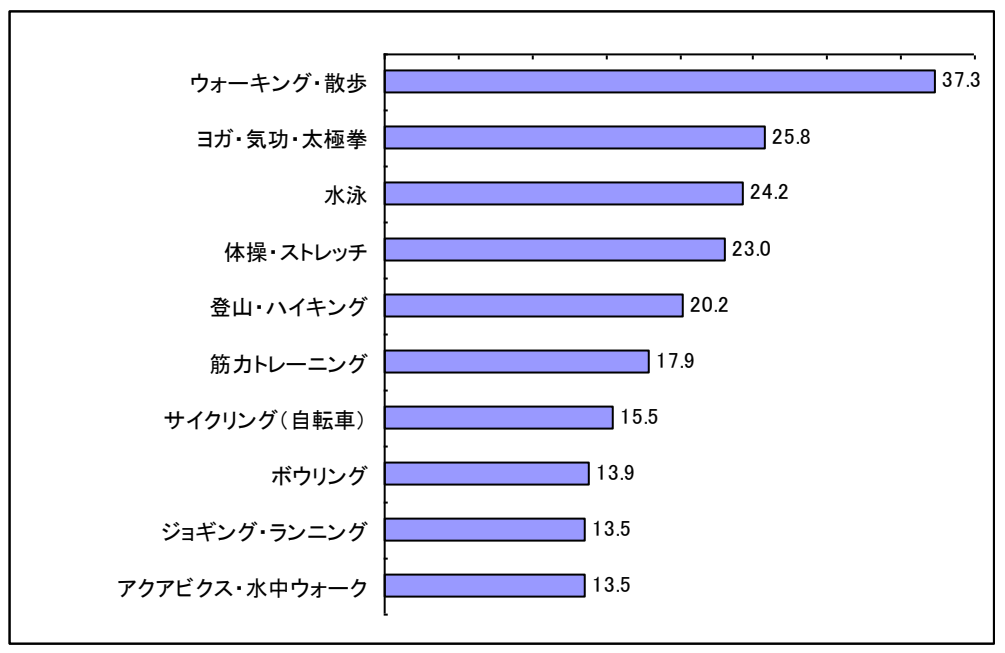
■ スポーツをほとんどしない人でも、スポーツを全くしたくないわけではなく、今後してみたいスポーツを質問すると中学生では「武道」33.8%、「ハンドボール」23.4%など、従来まで体育の授業でもあまりする機会の少ないスポーツに関心を持っています。成人の場合も、「ウォーキング」「ヨガ・気功・太極拳」「水泳」「体操・ストレッチ」など、身体を動かす程度であってもしてみたいスポーツがあげられています。

①中学生（基数 n=77）



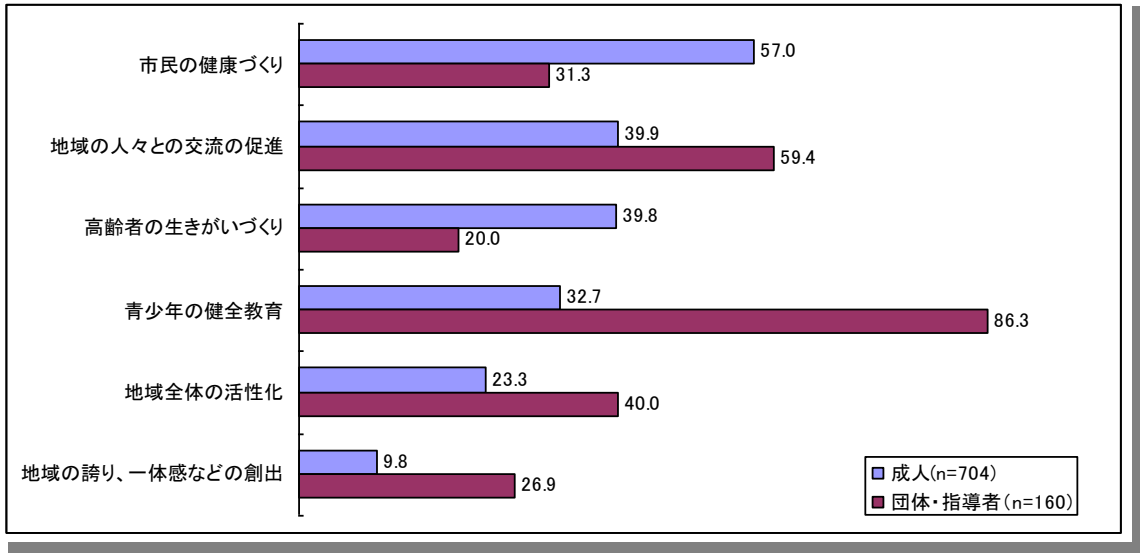
* 高校生はスポーツを「ほとんどしない」人は16名ですが、今後してみたいスポーツとして、「バスケットボール」33.8%、「テニス」「スキー・スノーボード」(共に25.0%)などがあげられています。

②成人（基数 n=252）



(5) 地域スポーツ振興が地域社会に与える影響・効果

■成人：「市民の健康づくり」「地域の人々との交流」「高齢者の生きがいがづくり」
 ■団体・指導者：「青少年の健全教育」「地域の人々との交流」「地域全体の活性化」が上位の項目です。



(6) 市のスポーツ施策について（成人の評価）

■「重視度：高、満足度：低」で改善が必要な項目：「スポーツ情報の提供」「高齢者のスポーツ活動の推進」「障害者のスポーツ活動の推進」となっています。
 ■「重視度：高、満足度：高」の項目：「スポーツ施設・設備の整備」「青少年のスポーツ活動の推進」

